

## 会議録

会議の名称	和泉市環境基本計画専門部会（令和２年度第１回）
開催日時	令和２年９月２４日（木）１３：５５～１５：４５
開催場所	コミュニティセンター１階 大集会室
出席者	巖部会長 藤田委員 橋本（隆次）委員 河合委員 橋本（恵）委員 梁取委員 辻委員 稲井委員 （以上８名 順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	<p>■議事</p> <p>(1) 第３次和泉市環境基本計画（案）について</p> <p>(2) パブリックコメントの募集について</p> <p>(3) その他</p>
会議の要旨	<p>○第３次和泉市環境基本計画（案）について概要の説明、質疑、審議を行った。</p> <p>○上記計画のパブリックコメントの募集について概要の説明、質疑、審議を行った。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
議事要旨 【主な意見等】	<p>１．議事</p> <p>(1) 第３次和泉市環境基本計画（案）について</p> <p>【事務局説明概要】</p> <p>前回の会議後の動きについて説明したい。前回は１月２３日に開催され、いただいたご意見を反映し、その後、第６章・第７章について検討を行った。７月に関係部署へ照会を行い、第５章について一部修正を行った。また、p.35の代表指標について、目標値の設定などの検討を行った。その後、８月下旬に関係部署へ再度照会を行い、各課の意見を元に再度修正を行い、９月上旬に巖部会長へ事前説明を行い、いただいたご意見を反映したものを素案としてお示ししている。</p>

	<p>特に、ご審議いただきたい箇所は、p. 72～87 までの第 6 章、第 7 章で初めてご覧いただく箇所である。また、p. 35 の代表指標の目標値についてである。</p> <p>第 6 章は、環境基本計画において、特に取り組むべき施策を掲載している。気候変動に関する取組、生物多様性に関する取組、循環型社会の形成に関する取組の 3 本の柱を掲げている。</p> <p>一つ目の柱である気候変動に関する取組については、温室効果ガス削減に向けた取組と気候変動への適応に関する取組を掲載している。温室効果ガスの排出量を平成 25 年度値と比較し、30%を削減することを目標としている。部門ごとの削減率については、p. 73 に掲載しているとおり、国の目標値と同等の目標を設定している。</p> <p>p. 74 からは、区域施策編として位置付け、市全体の温室効果ガス排出量削減を目指す取組事項を掲載している。個別目標として 4 つの項目に整理している。</p> <p>p. 77 からは、適応策に関連した取組である。こちらは、どれだけ緩和策に取り組んでも温暖化の影響が生じることが予測されていることから、社会のあり方を今後どのように適応させていくかを検討した項目である。環境基本計画では気候変動への対策に関する情報発信などを具体的な施策として記載している。</p> <p>p. 79 からは、二つ目の柱である生物多様性に関する取組である。第 2 次計画に引き続き、和泉市生物多様性地域戦略として位置付けていきたい。森林環境譲与税の創設やみどりの基本計画の改定など、状況の変化を踏まえて記載している。具体的な取組としては、生物多様性の維持管理や環境学習の推進等を進めていきたい。</p> <p>p. 82 からは、三つ目の柱である循環型社会の形成に関する取組である。近年、世界的にプラスチックごみが大きな問題となっているが、和泉市では昨年 10 月に、和泉プラスチックごみゼロ宣言を実施している。こちらの宣言に基づき、プラスチックごみの削減に関する取組を進めていきたいと記載している。また、第 2 次計画に引き続き 3R に関する取組を進めていきたい。</p> <p>第 7 章の方策については、第 2 次基本計画を引き続き、行政だけでなく、市民・事業者の方の役割分担・責任のもと取り組んでいきたいと考えている。進行管理方策についても、同様に PDCA サイクルで改善を図りながら推進していきたいと考えている。</p> <p>引き続き、p. 35 の環境基本計画の代表指標の目標値について、</p>
--	--

	<p>今回は具体的な数字が掲載できるものは具体的な数字を掲載している。環境基本計画以外の計画からの転載の項目は、現在、改定中の計画もあり、本日以降に修正させていただく可能性がある。</p> <p>「環境に関する学習会等の参加人数」は「開催数」の誤りである。訂正いただきたい。「開催数」に変更した理由だが、照会をかけたところ、具体的な人数を把握していないイベントもあり、集計できないことから「回数」を対象としたいと考えている。各計画からの目標値や内容につきましてもご意見いただきたい。</p> <p>紹介させていただいた、第6章、第7章、目標値についてが、本日、特にご審議いただきたい内容である。</p> <p>また、p. 39～71の第5章「望ましい環境像の実現に向けた取組」について、関係部署に照会を行い、表現の仕方等を一部修正させていただいている。また、巖部会長からご意見いただいた内容として、p. 55に、信太山丘陵の保全と活用に関する取組を新たに追加させていただいた。第5章についても、お時間許す限りご審議いただければと思う。</p> <p>最後に補足として、p. 130以降に新たに用語集を掲載させていただいている。第2次計画にもあったが、環境に関する言葉も増えているので、追加項目などあればご指摘いただければと思う。</p> <p>資料編については、令和元年度値の最新データが入手できたものについては随時更新させていただいている。その点修正が若干加わっているものである。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>事務局の説明に対し、ご意見ご質問をお願いしたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 130だが、アドプトプログラムがアドプトとなっているが、国交省ではアダプトになっているかと思う。今一度確認いただきたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 35の家庭系ごみ1人・1日あたりの排出量の現状値が既に目標を達成しているが、どういうことか。</p> <p><b>【事務局】</b></p>
--	--

	<p>有料化などの施策から、目標値を上回っている状況である。現在、ごみ処理基本計画の第5次計画を検討中であり、今後目標値を検討し、来年の年明け3月に変更予定である。</p> <p><b>【巖部会長】</b> この計画が確定する前に、目標値は決定するのか。</p> <p><b>【事務局】</b> 決定する予定である。</p> <p><b>【委員】</b> アドプトロードプログラムに参加しており、アドプトロードと記載されている看板を確認している。大阪府のプログラムに準じたものかと思うので、それが間違っているのであれば、市から府に伝えていただいてはと思う。私たちになじみのあるものはアドプトロードではあるが確認いただければと思う。</p> <p>p.88の3Rの推進について、今時3Rはどうかという話が以前あったと思うが、3Rを打ち出す理由があれば、ご説明いただきたい。</p> <p><b>【事務局】</b> 3R、4R、5Rとそれぞれ言葉があるが、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを分解して4R、5Rはそれらに関する詳細を説明しているためである。環境省の方では、3Rで統一されて表現されているので、3Rとして記載は統一させていただいた。</p> <p><b>【巖部会長】</b> 最後の用語解説の、3Rのところを場合によっては4R、5Rと表現されることを書いてはどうか。</p> <p><b>【委員】</b> 先ほどのアドプトについてであるが、英語では、アダプトだが、大阪府下ではアドプトリバーなど全てアドプトと使っているのが現状である。</p> <p>環境家計簿について用語集に追加いただきたい。p.35に年間の1人当たりの年間のCO<sub>2</sub>排出量も掲げられているが、環境家計簿を</p>
--	--

	<p>つけることで、世帯あたりの CO<sub>2</sub> の排出量が算出できる。それを家族で割れば 1 人当たりの排出量も把握することができ、環境家計簿をつけることで身近な排出量が分かるということで 20 年近く取り組んでいるので、追加お願いできればと思う。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>取組の中に、環境家計簿があってもしかるべきかと思う。環境教育などの中に追加いただき、用語集にも追加いただくのは良いかと思う。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>環境家計簿については、用語集と中身の方にもというご指摘だったかと思う。用語集には入れさせていただき、中身については検討させていただききたい。</p> <p>大阪府はアドプト、一般的にはアダプトとなっているようなので、事務局で検討させていただきたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 35 の代表指標について異論はないが、今後のという意味でご検討いただきたいのが、1 番目の環境に関する学習会等の開催件数について、具体的なイベントも記載されている。お祭りなどは人数把握するのは難しいかと思うが、出前講座などは参加者数把握できるかと思うので、把握できるものは参加人数を継続的にデータとして収集し残して頂ければと思う。また、2 つめのコミュニケーションが取れていると思う市民の割合は計画が出るまでには数字が分かるのか。</p> <p>また、気候変動の公共交通の利用率について、細かい所では、バス利用率の所でダブルコロンの (:) にカンマ (,) がついているのは直して欲しい。交通計画の中で地域バスを今後増やしていくなどの方針があるのであれば、その方針と目標値の関係をどう見るのか、また、コロナ下の中で公共交通に乗らない傾向が出ているということも聞くので、鉄道は変わらないかもしれないが、バスや地域バスは路線変更などがあった場合、どう考えるかは今後の検討課題としていただきたい。</p> <p>p. 36 のモニター指標について、フォントや体裁は整えていただければと思うが、情報の発信回数は回数だけでなく質も把握でき</p>
--	--

	<p>ることを考えていただきたい。これを指標化するのは良いことだが、併せて内容の質をどう評価するのかについてもご検討いただきたい。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>人数の把握については、人数が把握できるものは全て把握しているので、経過を確認し進捗管理をしていきたいと考えている。</p> <p>コミュニケーションが取れていると思う市民の割合についてだが、計画策定の前に把握することが可能な数字となっている。</p> <p>公共交通については、現在、地域バス利用率について担当課の方でも目標について悩まれている状況であることからこのように記載させていただいている。最終的に目標値が書けなかった場合でも、5年後の中間見直し時には掲載できるように引き続き検討していきたい。</p> <p>体裁については調整させていただく。情報発信の質の把握について、把握できるような進捗管理シートをつくり検討していきたい。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>生活環境課から補足させていただく。先ほどの家庭ごみについて、ごみ処理基本計画が来年3月に作成される予定である。それまでに数字が決定できない状況である。環境基本計画への反映は難しいと考えている。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>目標値については、同じ位置づけの数値が何カ所かあると思う。パブリックコメントの際には、最終的にはいつ頃に数字が入るなど分かるように表示された方が良い。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 4、5に文字の欠落や重なっている箇所など見難い所があるので修正をお願いしたい。</p> <p>また、p. 83の3Rについて、3Rを進める際には、第1次の計画でp. 114に記載されていた「リジェクト」という言葉が、第2次計画から入っていないので入れるべきではないか。</p>
--	---

	<p><b>【事務局】</b></p> <p>p. 4 、p. 5 の誤植については修正させていただきたい。また、p. 75 の重点的な取組の「住宅の省エネ化」の部分の「住宅」を「建築物」に訂正させていただきたい。p. 77 のタイトルについて「気候変動の影響への対策」と修正する予定である。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>3R について、リデュース、リユース、リサイクルと出前授業等でも 3R として進めている。容器包装プラスチックの削減については、和泉市はプラスチックごみゼロ宣言をさせていただき、プラスチックごみの削減を行うため、マイバック、マイボトルの推進を行っている。また、レジ袋の有料化により、マイバックや容器を持っていた方が増えていると考えている。以前は、「リジェクト」の言葉が入っていたが、現在は 3R のリサイクルという形で進めていることをご理解いただきたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 35 の目標値について、市民 1 人あたりの CO<sub>2</sub> 排出割合について、2013 年度より 30%削減とある。現状値と比べると 26%くらいにしかないのではないかと思う。事業系ごみの年間排出量について、目標値が増えている理由はなぜか。理由を教えてください。雨水管整備面積の割合について、目標値と現状値について差が小さいのはなぜか。</p> <p>p. 73 気候変動対策について、国の目標設定という表があるが、その下に和泉市の目標設定がある。国はエネルギー起源などの項目があるが和泉市にはない。これはなぜか。また、目標は部門別であるが取組は部門別になっていない。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>p. 35 の市民 1 人あたりの CO<sub>2</sub> 排出量については人口の自然減少分を考慮して算出している。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>ごみ減量については、和泉市から多量排出事業者に向けて調査をしており、事業系ごみも減少してきているのが実態であるが、先ほどの家庭ごみと同じく、ごみ処理基本計画の改定を令和 2 年</p>
--	--

	<p>度末に予定しているので、ご理解いただきたい。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>雨水管整備面積の割合については、雨水管整備は市街化区域の中でしかできず、今後、市街化調整区域から市街化区域への変更など分母が増えると誤差の範囲である。また、和泉市では過去に大きな浸水被害は出ていないので、現状値となっているが、令和3年度には計画の見直しを行う予定である。見直しの際には目標値が増えていくと聞いている。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>ごみに関しては、古い目標値は書かずに、今年度末改定予定と記載したほうがよい。雨水については、次年度末なので記載を行っていく。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>目標値の記載方法については、ご意見を受けて関係各課と調整し、環境審議会の時に整理してご報告させていただきたい。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>p. 73 目標と取組に整合が取れていないのではないかという点について、地球温暖化対策に関する法律があり、和泉市全域を対象としp. 73～75の記載項目を入れた形で温暖化対策の計画をつくるようになっている。数字の積み上げに関しては、統計データを元に作成している。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>表の項目の違いについてご質問いただいていた点については、国のエネルギー起源CO<sub>2</sub>と書かれている項目は、下の産業部門・業務部門・家庭部門・運輸部門・エネルギー転換部門の合計値となっている。よって、和泉市の目標設定と見比べていただけるように体裁を統一したい。</p> <p>もう一点、エネルギー転換部門について国の目標値にはあるが、和泉市には無い点について、エネルギー転換部門は例えば発電所など石炭、原油、天然ガスなどを電力やガソリン・軽油・重油などに転換する部門を示すものである。和泉市に関しては該当する</p>
--	--



	<p>施設が無い状況である。わかりづらい面があるので、表現については調整させていただきたい。</p> <p>【委員】</p> <p>国の削減率は平均すると 25%だが、和泉市は 30%である。和泉市が厳しくしているのはなぜか。</p> <p>【事務局】</p> <p>国と同じ割合になっている。</p> <p>【事務局】</p> <p>和泉市の場合、家庭部門や業務部門の占める割合が排出量全体の中で大きくなっている。国の方は産業部門が占める割合が大きい状況である。部門別ごとの削減率は国と同じ目標削減割合を設定しているが、市と国で構成している要素が異なることから、合計していくと和泉市の方が大きい削減率になっている。</p> <p>【委員】</p> <p>p. 35 の代表指標の水質について、未確定になっている。未確定の理由はなぜか。また、p. 77 の気候変動の重点的な取組事項の市民の取組の所で「○」が 4 番にしかついていない。1 ～ 3 について「○」がついていない理由をお聞きしたい。</p> <p>【事務局】</p> <p>p. 35 の水質の環境基準の達成状況について、現時点ではまだ確定したデータ無い為に「未確定」と記載させていただいている。確定次第、掲載させていただく。現在、市のデータはあるが、大阪府所管のデータなどに未確定部分がありこのような表現となっている。</p> <p>p. 77 について、1 は市が主体となって行う取組、2 は事業者・団体が主体となって行う取組、3 も事業者・団体が中心となって行う取組となっている。そのためこのような表現にさせていただいている。</p> <p>【委員】</p> <p>体裁の問題と内容の問題とご検討いただきたい項目がある。</p>
--	---

	<p>体裁について、p. 79、80 で、写真の説明と文章中に「廃棄（ハイキ）ング」が出てくるが、文章中也写真の説明箇所の表現に統一していただきたい。</p> <p>出典について、「HP」と「ホームページ（p. 83）」と表現している箇所があるので、統一していただきたい。</p> <p>p. 82 に「市内の大学生等若者」という表現があるが、計画に見合った表現に検討をお願いできればと思う。</p> <p>主に関連するSDGsについて、ロゴマークを入れていただいているが、マークの大きさに変化があるものがあったり、そうでないものがあったりする。「関連するSDGs」など見出しのつけ方も含めてご検討いただきたい。</p> <p>環境分野では、「グリーンリカバリー」という言葉も最近出てきている。SDGsとの関連で「グリーンリカバリー」をどこかに加えていただく余地があればご検討をお願いしたい。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>廃棄（ハイキ）ングについては、表現方法について検討したいと思う。また、ご指摘いただいた表現方法についても検討をしたいと思う。</p> <p>グリーンリカバリーについては、追加と用語集への掲載について前向きに検討したい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 75 の水の有効利用について、公共下水道の浄化槽の改造費助成制度は予算措置まで取られているということでよい。</p> <p>意見であるが、公共交通の話で「めぐーる」が使いにくいという感覚がある。南海バスの本数を増やす、利用料の特典など高齢者はバスを活用しており、路線をきめ細かくしていただくほうが利用率は上がるのではないかと。「めぐーる」は廃止し路線は増やした方がよいのではないかと。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>公共下水道の浄化槽の改造費助成制度は以前から実施しており、予算化もされている。</p> <p>「めぐーる」について、交通担当部署でも協議会をつくり議論されている。いろんな声があり、環境のこの場面で議論は難しい</p>
--	---

	<p>が、意見としてお伺いし、機会があった際にまたお伝えしていきたい。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>運輸部門の CO2 排出量を 28%減らす目標が立っている。交通部局では、こうやって 28%削減していこうということを具体的に描いているのか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>コスト、利用者のニーズ、環境といろんなバランスを考えていかなければならないところであるが、なかなか難しい面もある。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>最初の説明の時に、p. 55 に信太山丘陵などにおいて生物多様性を保全していくというものがあったが、惣ヶ池の浄水場について、関係する和泉市、泉大津市、高石市の 3 市で廃止の検討がなされていると聞いている。惣ヶ池の浄水場がなくなってしまったら、生物多様性の保全が難しくなるのではと考えていて、呑気なことは言っていられないと思う。そのあたりについて、どのようにお考えかお聞きしたい。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>浄水場の廃止に向けた動きがあると聞いているが、現時点で決定されたものではない。環境の立場としては、浄水場の今後に関わらず、信太山丘陵の自然は守っていくべきものの一つであると認識している。仮に浄水場がなくなることになったとしても、信太山丘陵の自然がなくなるわけではない。みなさんが守っていくという意味があれば、当然、守られていくものである。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 36 に、いずもくの年間搬出材積についてモニター指標に掲載されている。現在のいずもくの搬出量は減っている状況である。指標でありながら搬出量が出ていない状況については、ご検討いただく余地があるのではないかと思う。</p> <p>森林環境譲与税を活かして生物多様性を維持しながら経済活動を推進されることをされるのであれば、その点を指標化された方</p>
--	--

	<p>がよいのではないかと思う。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>搬出量については、出せる木が生えている所を整備しないと山から木を出せない。この年は、荒れた山を整備していた年なので搬出量がゼロになっている。森林環境譲与税は、現在基金として積み上げている。搬出量はその年の整備内容によって変動するものである。短いスパンでみると捉えづらい数値であるが、長いスパンで考えると変わってくる数値ではあるので、森林環境譲与税に基づく事業を記載するのも含めて担当部署と相談していきたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>そうであれば、適正な森林管理と生物多様性の保全という視点から異なる指標を検討されてはどうかと思う。</p> <p>大阪府の森林環境譲与税で基金係留地域のハード事業に和泉市も入っていると思われる。ハード面・ソフト面で積極的に活用されるのであれば、そのあたりについて今後、ご検討いただきたい。</p> <p>2期の大阪府の森林環境譲与税でも対象地に和泉市が2か所あげられていたかと思うので、ご検討お願いしたい。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>いずもく、トカイナカ、E S G投資、クールチョイス、スマートハウス、Z E H、Z E B、リサイクリーン、おおさかクールオアシスプロジェクトなど説明をされた方がよいかと思う。用語集についてはもう少し拾い上げた方がよいかと思う。</p> <p>今後、市民向けに概要版を作成されると思うが、計画の前段にまとめのページがあった方がよいと思う。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>概要の追加について内部で検討させていただき、出来れば、次の審議会に出させていただければと思う。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。他になければ、次の議事に移りたい。</p>
--	---

	<p>(2) パブリックコメントについて</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>今後のスケジュールの概要についてご説明させていただきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、当初よりスケジュールが変更になっている。10月15日(木)に環境審議会を開催予定である。本日ご審議いただきましたご内容を踏まえ、修正し計画案をお示しする予定である。</p> <p>審議会の後に、審議会の内容を反映し、都市環境委員会に報告案件として提出させていただき、12月議会に令和3年1月にパブリックコメントの募集について報告する予定である。</p> <p>パブリックコメントの募集は令和3年1月いっぱい行う予定。募集方法は広報やホームページで行う。</p> <p>パブリックコメント募集の後、最終案のとりまとめを行い、令和3年2月中旬頃に第2回専門部会を開催予定である。</p> <p>最終案は令和3年の3月下旬に開催予定の第2回環境審議会で最終報告と市長から環境審議会に計画案の諮問をさせていただき、年度内に審議会会長から答申をいただく予定である。</p> <p>理想としては年度内での計画策定を目指しているが、新型コロナウイルス感染拡大状況等に鑑み、会議の開催を含めて検討の段階ではある。ご協力いただけるようお願いしたい。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>来年1月にパブリックコメントを募集するということである。「その他」の議事はいかがか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>「その他」の議事で予定しているものはない。</p> <p><b>【巖部会長】</b></p> <p>以上で、本日の案件は全て終了である。それでは、事務局に進行をお返りする。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>本日は、長時間、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--